

第1回水稻病虫害発生予察結果（伊豆市内）



4月下旬～5月上旬植えの早生品種（コシヒカリ等）

【生育状況及び病虫害発生状況】

コシヒカリは、1株の分けつは遅い田んぼで8～18本、早い田んぼでは16～24本となっています。1株の分けつ本数の平均が20本程度となったら中干しを行ってください。

1株の分けつ本数の平均が20本に満たない田んぼについては、分けつを促すため昼間は田んぼの水を止め、水温を確保し分けつ本数の増加に努めてください。

また、1株の分けつを数える際には用水の入口付近は水温が低く生育が遅いため計測せずに、田んぼ中ほどの株を計測するようにしてください。

病虫害の発生は確認されませんでしたが、今年度もカメムシの大量発生が予測されているため、田んぼ周辺の草刈りを行いカメムシの繁殖場所をなくすよう管理をお願いいたします。



北又地区
コシヒカリ



原保地区
コシヒカリ

【中干しについて】

中干しは、分けつ本数が平均20本程度となったら、水を抜き、田の表面に軽くヒビが入る程度まで行ってください。中干しは、地中のガス抜きや酸素の供給、穂になりにくい無駄な分けつを抑えるための作業となります。その際の天気の状態により晴天時は2～3日程度、雨が続くときは1週間程度を目安に行ってください。

また晴天が続いている場合、中干しをやりすぎてしまうと田んぼに大きくヒビが入ってしまい根を切断し、生育が悪くなってしまうこともありますのでご注意ください。



中干しの目安

【雑草について】

予察の中でオモダカ、ホタルイなどの水田雑草が発生しています。
雑草が多くなると病虫害の誘因、作業効率の低下の原因により水稻の生育の妨げとなりますので、タイミングのあった除草剤散布での防除をお願いいたします。



ホタルイ



オモダカ

中干しの際に使う除草剤として「バサグラン粒剤」があります。使用の際は、田んぼを落水状態(足跡に水が少し残る程度)にして散布を行ってください。また、散布後2～3日に田んぼに水を入れたり雨が降ってしまうと効果が低下しますので、**散布後3日間は雨の降らない日を狙って**散布してください。

薬剤名	使用時期	使用方法	使用量	使用回数
バサグラン粒剤	移植後15～55日 (ただし収穫45日前まで)	落水散布または ごく浅く湛水して散布	3～4kg/10a	1回



今後の予察結果・栽培管理は
こちらからご覧になれます！

作成日：令和7年6月2日

J Aふじ伊豆修善寺営農経済センター
担当：竹村

電話：0558-72-4461